



※定住外国人子ども奨学金ニュースレターWeb 版は個人情報などの都合上、内容を一部変更しています。

第 4 回 KOBE カンタービレ・コンサート 開催

2012 年 11 月 4 日に、第 4 回目となる「KOBE カンタービレ・コンサート～とおくからきた なかまとともに～チャリティ」を、西宮市プレラホールで開催しました。今回は、クラリネットの青山秀直さま、ピアノの宮本聖子さまにご協力いただき、子どもから大人まで楽しめる、多彩なプログラムを演奏していただきました。

第一部では、「エンターテナー」や「からたちの花」など、わたしたちが普段から馴染み深い曲を演奏してくださいました。やはり街なかで聴くメロディーとはまったく印象がちがひ、クラリネットとピアノのハーモニーがとても心地よく、思わず目を閉じて聴き入ってしまう演奏でした。演奏の合間には、それぞれの曲の紹介が青山さんからあり、「ああ、あの曲ね！知っている！」と、紹介を聞いて思いだされた方もいらっしゃるのではないかと思います。そのあとも、「美女と野獣」や「歌劇『魔笛の射手』の旋律による幻想曲」などを表現豊かに演奏していただき、あっという間に前半が終わり、奨学生紹介の時間となりました。

もう毎回恒例となった奨学生紹介ですが、やはり新しく仲間になった 5 期生はずこし緊張している様子。それでも一度壇上に立つと奨学生たちは、質問に自分の言葉できちんと答えることができていました。「やるときは、皆やるんやなあ」と、舞台袖から見てとても関心し、頼もしかったです。そして、奨学生たちの受け答えを聞いているお客さんたちから時折湧きあがる、拍手や笑い声などがとてもあたたかく、会場全体がアットホームな雰囲気になっていました。壇上で話す奨学生たちも、自分たちの成長を見守ってくれている人がたくさんいることを、肌で感じることもできたのではないのでしょうか。

第二部では、「インマークライナー」という、演奏中にクラリネットが分解され、どんどん短くなっていく曲を演奏していただきました。口をばかーんとあけて見入ってしまうほどおもしろく、耳だけでなく目でも楽しめる演奏でした。そのあとの楽器紹介では、クラリネットの音の鳴らす難しさや、一つ一つのパーツの特徴をていねいにご説明いただき、楽器の歴史や奥深さを知ることができました。

気がつけばもう、最後の曲。「歌劇『カルメン』による華麗なるファンタジー」は、軽快なメロディーやゆったりしたメロディーが堂々と演奏され、「ああ、もっと聴いていたいなあ」と思うすばらしい演奏でした。もっと聴きたいという皆さんの思いが大きな拍手となり、そのあとにはアンコールの曲まで演奏していただきました。今回は西宮市のホールでの開催ということで不安な部分もありましたが、ご協力いただきました皆さまのお陰をもちまして、アットホームであたたかい気持ちになるすばらしいコンサートにすることができました。ほんとうに、ありがとうございました。

(奨学金事務局ボランティア A.Y.)

奨学生からのメッセージ

今回は、①「住んでいる街」「住んだことのある街」②「私の家族」「私の友人」③「奨学金の活動に参加して考えたこと」の3つのテーマから選択で、冬休み前に奨学生に作文を書いてもらいました。

Hさん (3期生)

「住んだことがある街、ハロン」

ハロンは世界自然遺産ハロン湾で有名です。ハロン湾が 1994 年 UNESCO によって世界自然遺産に登録されてから、国内外の観光客いっぱい活気があります。

ハロンはベトナムの首都ハノイから車で3時間の所にあります。ハロンは漢字で書けば「下龍」で龍の降りる所という意味です。ハロン湾は長い年月波風の浸食を受けて形成された無数の奇岩で幻想的な水墨画の世界を作り出します。ベトナムの伝説によれば、昔のベトナムはよく侵略者に海から攻められていた。天の神様が龍に命じられて、侵略者の船の群れに火砲を吐き、これらが山になって敵の船の群れを分断させました。これらの山が今のハロン湾の無数の奇岩だと伝えられています。

他にも、ハロン湾の奇岩の中の神秘的な鍾乳洞が観光客を魅了しています。

子どもの時、夏休みになると、いつも親戚の家に行ってハロンで過ごすことが多かったです。夏の猛暑を逃れ海に行けば風が吹いてきてすごく涼しいです。そのため、最近海辺の別荘が増えているそうです。ハノイなどの大都会の多忙な毎日から逃れて休日に涼しくて落ち着くハロンに行き、ゆっくり寛ぎながら、ハロン湾の風景を眺める人も多いそうです。

家が浜辺に近いので、毎日友達と海に行き泳いでいました。すごく楽しかったです。ハロンの子どもはほとんど陸の上の学校に通っていますが、中には水面の上の学校もあります。この子どもたちが親と昔から何世紀にも渡って海の上で魚を獲って生活してきました。ハロン湾は水上生活者がいることで有名です。その数は 300 世帯ぐらいです。

ハロン湾では、魚が多く取れ、その種類も豊富です。海産物が美味しくて安いので、ハロンの人は肉より魚の方を好みます。

夕方になると太陽が海の上の奇岩の向こうにゆっくりと沈み、空は真っ赤となり、とてもロマンチックな風景が作り出されます。

ハロンは本当にきれいですので、是非訪れてみてください。

Sさん (3期生)

「住んでいる街」

私が今住んでいる街はとても素敵な街だと思っています。神戸は私の第二の故郷とも言えます、神戸に来てもうすぐ五年目になります。でもいまだ詳しくないけど、でもとても住みやすい所だと思います。いろんな面から神戸がとてもいい街と言えます。例えば、国際的に言ったら、神戸はとても有名です。神戸は今沢山の外国人が住んでいますし、外国の建物もあります。とても外国と連携しやすいですし、外国人も神戸に旅行します。空気もよくて、人はとても優しいし、会話しやすいです。神戸はいろんな外国の物を日本に輸入して来ます。神戸港も有名とされています。神戸は関西地方では、大阪について、二番目に有名な街だと思います。昔歴史上で言えば、平清盛はとても印象に残っています。かつて、彼は神戸を都にしようとしたけど失敗しました。

神戸は私の故郷大連と同じ所が多いと思います。例えば気候は、夏はとても暑くて、海も近いですし、冬になったら、中国の方が寒いかもしれないけど、神戸も寒いです。経済的に言いましたら、神戸は日本の中にくっつかある都市の中でも上位に入っています。日本の代表の街とも言えます。大連も最近中国

ではとても注目されている都市となっています。私自身はとても嬉しいです。神戸も大連もおたがいの物質を輸入したり、輸出したりしています。だから二つの街では、外国に関してとても関心をもっています。

神戸を歩いてましたら、意外におもしろい場所があります。まず三ノ宮です、三ノ宮といたら街の中心です。いろんな買い物ができる場所が多くて、夜はとてもにぎやかです。

次は六甲です。六甲山は今の季節ならスキーができます。人口雪で沢山の人たちがスキーを楽しめます。

最後は姫路です。姫路は、市中心からちょっと離れているけれど、姫路城が有名で、毎年沢山の観光客が訪れています。

街はまたこれから進化していきます。自分達もこの住んでできる街のいい所を沢山の人々に伝えてあげたいです。これからもこの街を愛し、楽しく住んでいきたいと思えます。

Tさん (3期生)

「住んでいる街」

私が今住んでいる街は、私が 6 歳の時日本に来てからずっと住んでいる街です。

私が住んでいる街は都会というほど大きくはなく、田舎というほど和やかではない中間の街ですが、私はこの街が大好きです。素晴らしい世界遺産や国家遺産の一つでもある姫路城だってあります。家のベランダからも見えて、時間を忘れて見惚れてしまうことだってあります。今は修理中ですが完成日が待ち遠しいです。

どこか遠くに行き遊んでいるときも自分の街が恋しくなって、落ちつかないときがあります。電車の窓から自分の見慣れた風景が映るとどこか安心して笑顔になってしまうほど、私はこの街が大好きです。

そして、この街が出会わせてくれた人も大好きです。

初めて、日本の学校に通ったときはまだ、恥ずかしがり屋で臆病だった私は、何も喋れずただ俯いて、日本語教室で兄に負けじと勉強していました。そんな私ですが周りの先生方だけでなく、同級生のみんなも優しくしてくれました。まだ、日本語が喋れなかった私に、同じクラスの子が日本語教室まで「一緒にお昼ご飯食べよ。」と誘いに来てくれたり、学んだばかりの片言の日本語で話す私の話もきちっと聞いてくれて、とてもうれしかったのを今でも覚えています。

日本人は優しいと、私に思わせてくれるのは、この街で今、私の周りの人に出会えたからだと思えます。

改めて、私は幸せもので、すてきな街や人に出会えたと思えます。

私は、今看護師を目指して歩んでいます。自分の夢に恥じないようにがんばっていきたくと思っています。将来、看護師になれたとき、私はこの街で看護師として周りの人の役に立てたらいいなと思っています。この街で育ってきたのでこの街に何かできたらいいと思っています。

Mさん (4期生)

「家族&友情」

私は『家族』という言葉は宝物と同じことだと感じます。ペルーにいる家族とはもう9年離れています。会いたいという気持ちは誰よりも強い。でも時間そしてお金の関係でいつも行くことをやめてしまいます。

日本にいる家族もいます。おばさん、おじさん、いとこ達。ほとんどみんなは大阪に住んでいるので少し遠いですが会おうと思ったら電車に乗ってすぐ行けます。でもペルーは簡単に行けないです。その

代わりに今頑張らなければならないことを一生懸命頑張ってペルーに行った時には家族に日本での生活、自分が得たものを語りたいし日本の魅力を他の国に広めたいです。

今までに出来たことは、日本語、学校、自分の生活、全部家族の愛がありましたので頑張りました。これからは頑張ることがたくさんあります。

友達とは親友とはまたちがう。みんなが言う友達は私が思う友達とは違う。小学校での友達はただあそび友達でしたが、高校の友達はちゃんと自分の気持ちを聞いてくれて、アドバイスをくれたりします。私がしんどい時にいる人が本当の友達だと思います。本当に私のことを考えてくれているから私も相手のこともよく考えます。しんどい時支えてくれる人がいると本当に幸せです。

高校の2人の子がよく話しかけてくれます。本当に嬉しいです。今は高校は楽しいし先生達も支えてくれるので本当に嬉しいです。

高校で出来た友達はさまざまです。私の学校では授業でクラスが別れています。学年で別れていないので、授業に後輩や先輩がいたりします。ある授業である人と友達になりました。自分より2歳上です。真剣な時は真剣に聞いてくれます。遊ぶ時はおもいっきり遊びます。悩んでいる時にはアドバイスくれるし自分の気づいていない、見えてない所を言ってくれるので本当に嬉しいです。

これからは自分を大事にしてくれる人を大事にしたいと思います。

Eさん (4期生)

「住んでいる街」

私が日本に来てからずっと兵庫県の中にある神戸という街に住んでいます。今日はその神戸について書こうと思います。

神戸という街は全国的にとっても有名で、明治時代には大きな港町でした。そして色々な国の人が住んでいます。私が住んでいるのは神戸の中でも最もさかえている三宮です。三宮は最新流行ファッションや物があつまる関西でも代表的な街の一つです。大阪には30分、京都には45分程でいけてしまう中心都市です。北には山、南には海が広がっている自然ゆたかな街でもあります。小学校と中学校の頃にいろんな所に遠足に行ったのですが、その中でも海側では明石海峡大橋、山側では再度山という山のぼったのがとても印象的です。両方ともすごくきれいでした。

神戸にはたくさんのイベントやおまつりも行われます。今年2回目をむかえ2万人の参加者がいた神戸マラソンをはじめ、夏はとても多くの人が集まる花火大会、三宮の道を大きく使った神戸まつりなどがあります。そして一番有名なのはルミナリエです。ルミナリエは旧居留地という場所をメインストリートとして、その道を何百万球もの電球でかざったイベントです。それはまるで日本のクリスマスです。このイベントは今から約十七年前におきた阪神淡路大震災の復興を促進する為にスタートしたイベントだそうです。

神戸は食べるものもとてもおいしいです。明石では明石焼き、長田では粉もの、三宮には多くのスイーツ店があります。元町には南京町というチャイナタウンもありたくさんの中華料理が味わえます。全国的に有名なブランド牛の「神戸牛」もあります。

観光地では北野の異人館や南京町があります。秋や冬になると修学旅行シーズンなので沢山の修学旅行生を見かけます。

私は神戸の環境も好きだし、自分の好きな服や物を買えることも大好きです。JR駅の近くのオーパーの洋服が大好きです。この前、赤いスカートとかわいいワンピースをおもわず買ってしまいました。そのスカートを人生二回目のコンサートで着て、一日中楽しい気分でした。

私は日本に来てもう6年近くたちますが、年をかさねるほどこの街が好きになっていきます。そしてまだまだ知らないことが沢山あるので、もっと神戸のことを知りたいです。

Cさん(4期生)**「住んでいる街」**

私は加古川市の別府町というところに住んでいます。四月にはこの町に来てもう五年間になります。別府町はとても便利な所だと思います。なぜ別府町は便利と思っているのかですが、まず、電車が近いです。車を持っていない人にこれは便利です。そして、お店やコンビニなどがたくさんあります。近くにモールもあります。モールの中には、スーパーや本屋や文房具やなどがあります。友達と遊びたいときには、モールの最上階にあるゲームセンターや、モールの隣のカラオケ屋さんに行きます。モールの中にもフードもカフェもあります。別府町にはまだお店がたくさんあります。

加古川市、特に別府町の人々はとても優しいと思います。同じアパートに住んでいる人達はいつも挨拶をしてくれます。

別府中学校に入学した時には、日本語を少しだけ話せませんでした。その時に、知っていた日本語は丁寧語だけなので、クラスメート達と話す時も「はい。」や「～ます。」や「～です。」を使ったので、クラスメート達が笑いました。クラスメート達は普通に話す言葉を教えてくれました。授業中にも分からない言葉や読めない漢字を教えてくれました。短い間にたくさん友達を作りました。みんな私にとっても優しくかったです。

加古川市に「加古川市ミニ・マダン」というイベントがあります。加古川ミニ・マダンじゃ別府町にある公園でしています。午前中には、在日外国人の講演や質疑応答です。外国の料理やお菓子などの販売もあります。

私の住んでいる街は神戸市の三宮や姫路市のようなにぎやかな所ではないので、私にとってこんな所の方がいいです。私の住んでいる所はなににぎやかではありません。私の住んでいる所は田んぼをどこでも見られます。夜はとても静かですが、別府町に住めて良かったです。

Oさん(5期生)**「奨学金の活動に参加して」**

私は、奨学金の活動に参加して、楽しいと思いました。特に、屋台で唐揚げや、揚げたこ焼きの手伝いをしたのが一番楽しいと思いました。でも、全部売り切れなかったのが悔しい部分がありました。次、屋台のお手伝いをするときは全部売りたいと思います。

私たち、奨学生のためのチャリティーコンサートに参加しました。私は、舞台に立つのが初めてだったのですごく緊張しました。でも、改めて私が今こうして毎日学校に通えているのは多くの方々に支援してもらっているからだ実感しました。なので、将来の夢に向かって悔いの残らないように勉強を頑張ろうと思っています。

私は、学校では、休み時間と授業の時間のけじめがついているときとついていないときとの差が激しいです。社会に出ると、今の自分の生活じゃ通用しないので、今の高校生活のうちにしっかりけじめをつけて、社会に出たときに恥ずかしくない人間になりたいです。

そのためには、授業をしっかり聞いて今しかできない勉強をしっかりやりたいと思っています。また、クラスの友達や他のクラスのみんなど仲良くして、人とのコミュニケーションを学んでいきたいと思えます。それと常に感謝の気持ちを持って学校生活や、普段の生活を送りたいです。

私の将来の夢は、看護師になることです。その夢に少しでも近づけるようにがんばりたいです。また、二年生になると各コースに別れるので、私は総合進学というコースに入って、クラスでは十番以内に入るようにしっかり勉強したいと思えます。そして、三年生になって推薦してもらえるようにしたいです。

播磨高校は、礼儀のことを教えてくれます。目上の方に対しての言葉づかいや人間としてのマナーを教えてくれます。これを、社会に出ても通用するように身に付けていきたいです。

S さん (5 期生)**「奨学金の活動について」**

奨学金を受けさせていただいてから、いろいろな活動に参加しました。その活動に参加して、普段の生活では体験できないことを体験して、僕はたくさん学びました。これから、奨学金の活動について、話したいと思います。

まずは、屋台のお手伝いです。手伝う前にはワクワクしましたが、心配したこともありました。でも、実際行ってみたら、スタッフみんな親切で、いろいろ教えてくれました。最初は、「お茶はいかがですか？」と大声で言いたかったが、勇気がなくて、恥ずかしかったので、なかなか言えなかったです。でも、お茶がどんどん売れで行くと、僕も「遠慮なく」大声でいろいろ言えるようになりました。最後に、売るものを全部売り切って、とても喜びました。

そして、学習支援ボランティアについても話したいと思います。僕が支援してあげた子どもは非常に明るくて、賢い子でした。でも、漢字の問題を書かれたら、私かわからないことがいくつもありました。そして、その子と一緒に辞書をひきながら、学習を進めました。人の役に立つことができ、自分の能力も高められて、とても良かったと思いました。ちなみに、僕は教師になりたいので、もしまた機会があれば、このような良い経験をさせていただけたらいいなあと思います。

最後に、最近参加したコンサートについても話したいと思います。奨学金事業のおかげで、ぼくは人生初のコンサートを聞くことができました。コンサートは非常に素晴らしかったです。コンサートの途中に、僕ら奨学生達はステージに上がって、簡単な自己紹介をすることになりました。僕はこんなに正式なステージに上がることは全くなかったので、めっちゃくちゃ緊張していました。でも、他の奨学生皆頑張っている様子を見て、「よし、僕も頑張らないと…！」と思いながら、無事に自己紹介を終えました。一番印象に残ったことといえば、司会者さんに「何年間日本に住んでいますか。」と聞かれて、「僕は去年 7 月に日本へ来ました。」と答えたら、皆「ヘー」と言ってくれました。その時は、緊張しすぎて、何も考えませんでした。でも、その後に思い出したら、その「ヘー」に力をもらいました。

人の役に立つことができ、自分を高めることもできることって、一番素晴らしいことだと思っています。ですので、これからも奨学金の活動に取り組んでいきたいと思っています。

N さん (5 期生)**「人は一人では生きて行けない。」**

初めて日本に来た時、怖かった。日本の中学校に入った時に全く違う世界に居たと感じた。言葉が違うため声が消えたように感じた。黙って一人で居た。一人で怖かった。

最初の一週間は楽しかった。同じ学年の人たちが私のこと気に入ったらしい。みんなが私の周りに居た。だけど、寂しかった。

時間がたって、だんだんその新しい「ともだち」が私の目の前から消えてしまった。でもその時自分に嘘をついた。自分が日本語を話せないだけで、周りの人達が英語を話せないだけで、自分が頑張って日本語を話せるようになったらきっと、みんなが私のそばに戻ってくれる。そう信じていた。

「がんばったよ。」「日本語をちょっとだけでも話せるようになったよ。」みんなに言いたかった。短い時間で、頑張った。誰にでも言えなかった。同じクラスの人達にはそれを言えなかった。聞いてくれる人が居なかった。一人では怖かった。寂しかった。一人で。

自分のメンタルが弱かった。私が弱かった。それぐらいは知っていた。弱い人だった。何もできない人だった。

時間がたっても無視されることばかりだった。毎日、その routine だったのだ。

しかし、悪い夢からおきたように目を覚ました。周りを良く見たら、一人ではなかった。学校の中では居

なかったけど、「ともだち」と呼ばれる人達が居た。

私のそばに居た人達が居なかったら自分はここに居ないかもしれない。その人たちのおかげで、その人達のサポートで学校に行け続けた。

中学校を出て、今、高校に居る私はその弱い人とは違う。まるで生まれ変わったような感じがする。いっぱい友だちができて笑うこともできるようになった。毎日、学校に行くのも楽しむこともできる。

「ともだち」と呼ばれる人達が居る。

「人は一人では生きて行けない。」、父の言葉だ。それは本当だと思う。

この世界の中には数えきれないくらい人が居る。一人になることはない。人が周りをよく見ないと自分が一人だと思ってしまうことが多いだけだ。私はそんな人だった。今は違う。

一人ではないと知っている。そうと信じている。ともだちがいる。

今回も、冬休み前に作文を書いてもらい、実行委員による作文指導を行って、再度清書してもらいました。奨学生の国語の勉強、日本語の勉強の一助になれば、との考えです。内容も掘り下げられ、表現も文章らしくなっているかと思えます。

これからもできるだけこのような方法で作文を書いてもらう予定です。

特別講演会を開催しました！

昨年の 12 月 1 日(土)に本年度活動助成金をいただいている一般財団法人 人間塾 塾長の仲野好重氏をおむかえし、西宮市民会館にて「未来をつなぐ教育力」というテーマで特別講演会を開催しました。

当日は幅広い層の 40 名以上の参加があり、講師の教育についての強い思い入れや、人間塾での実践活動・エピソード、若者の大きな可能性などを中心にお話いただきました。講演の最後には、質疑応答も行われ、より深い理解につながったかと思えます。

熱意に満ちた愛情深いお話を伺い、高校生に関わる者として、スタッフ一同身の引き締まる思いでした。
(奨学金事務局ボランティア K.K)

今年度も引き続き、募金箱設置にご協力いただきありがとうございます！

(順不同、2012 年 9 月 1 日現在)

FMわいわい、(財)神戸国際協力交流センター、神戸映画資料館、ほっとすてーしょん、神戸合同法律事務所、神戸市教職員組合、神戸市教育会館、兵庫県学校厚生会神戸支部、広東料理悠苑、甲南女子大学多文化コミュニケーション学科、(株)浜屋、尼崎市国際交流協会、南あわじ市国際交流協会、高砂市国際交流協会、タンカフェ、ひめじ発世界、神戸 YWCA、ベトナム料理メコン、インド料理チャルテ・チャルテ、南インドカフェダイニング チャルテチャルテ、マルヨネ 4 番館、チャオサイゴン、龍谷大学ボランティアセンター、ブラジリアーノ、民団西宮支部、焼き肉みなみ、韓国商工会議所、NPO 法人フォロ、佐用町商工会議所青年部、元祖とんかつカレーカツヤ

今後にも引き続き、募金箱設置をお願いいただける団体・店舗を募集しております！

皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

～今後の予定～

2013 年 3 月 1 日(木)～3 月 31 日(土) 第 6 期奨学生募集
 2013 年 4 月 7 日(日) 奨学生面接
 2013 年 4 月 11 日(水) 奨学生発表
 2013 年 4 月 21 日(日) 奨学生オリエンテーション&交流会
 2013 年 5 月 19 日(日) 神戸まつり出展
 2013 年 6 月 2 日(日) 灘チャレンジ出展
 2013 年 11 月 4 日(月・祝) 第 5 回 KOBE カンタービレ・コンサート

奨学資金の寄付を受付中です

ご寄付いただける方は、以下のゆうちょ銀行の口座までお願いいたします。

口座名義：定住外国人子ども奨学金実行委員会

口座番号：

(ゆうちょからの振込の場合) 1 4 3 7 0 8 7 4 5 4 7 7 1

(他行からの振込の場合) 店番 四三八 普通預金 8 7 4 5 4 7 7

問い合わせ先 定住外国人子ども奨学金実行委員会

〒653-0038 神戸市長田区若松町 4-4-10 アスタクエスタ北棟 502

NPO 法人 神戸定住外国人支援センター(KFC) 気付

TEL078-612-2402 FAX078-612-3052

E-mail kfc@social-b.net Web <http://www.social-b.net/kfc/scholarship/>

